

謹んで新年のお慶びを申し上げます



芭蕉の句碑（国道307号別所地先）横から綿向山を望む



みんなが幸せになれる 社会への転換を

日野町長 藤澤直広



新年あけましておめでとうござ
います。

初春の光のなかに綿向山がどっしりとそびえ、ふるさと日野の町を見守ってくれているようです。それぞれのご家庭で心新たに新しい年を迎えられたことと存じます。今年も牛のように大地にしっかりと足を踏ん張り、ゆっくりでも確かな歩みを進めていく年としなければなりません。

アメリカに端を発した金融危機によって、景気が後退局面になり「100年に一度の危機」とも言われています。大企業を中心に何万人もの労働者の「解雇」や新規採用者の内定取り消しが発生するなど社会不安、雇用不安が広がっています。特に、派遣や請負の労働者が、仕事がなくなりホームレスに陥る例も少なくありません。これまでの「経済は企業活動や市場に任せておけば上手くいく。規制などすべきでない。」という市場原理や規制緩和万能主義の「神話」が根本から崩壊しました。実体経済とかけ離れた株取引やマネーゲームによる博打のような経済運

営を改め、地に足をつけ、まじめに働く人たちが報われる経済社会に再構築しなければならないと思います。

一方で、昨年は、まじめに地道に頑張ってきた日本人研究者が4人もノーベル賞を受賞されました。受賞者の言葉の中には、コツコツと基礎研究を大切にすること、自然に謙虚に目を向けること、夢や憧れに向かって頑張ることをはじめ平和であることの大切さなどが語られました。勤勉、情熱、愚直、大志など今の社会が取り戻さなければならぬ価値観が凝縮されていると思います。

今年こそ「金儲け第一主義」の虚構（バーチャル）の社会から、人と人が支えあう、みんなが幸せになれる社会への転換を成し遂げる年にしたいものです。そのためにも、町民の皆さんとともに笑顔があふれ、元気で温かいまちづくりさらにさらに精一杯取り組みたいと思います。ご支援とご協力をお願いするとともに、日野町の発展と町民の皆さんの幸せを願って新年のご挨拶とさせていただきます。